

令和3年度 自己点検・自己評価及び学校関係者評価

学校法人 高山学園

専門学校 福岡カレッジ・オブ・ビジネス

学校関係者評価委員会

1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
1-1-1 学校が教育を行う理念・目的・育成人材像などが、明確に定められているか	5	校訓 照一隅、越一線	職務便覧に表記しており、教職員全員に配布している卒業アルバムに表記されている	
1-1-2 理念・目的・育成人材像を実現するための具体的な計画・方法を持っているか	4	研修・訓示等を通じて周知させて行く	朝礼・職員会議での校長からの訓話及び独自の教員像徹底。学生育成の方法解説	理想の教職員像を統一すること 専門科目の研究 学生指導の徹底 教職員間のコミュニケーション
1-1-3 理念・目的は、時代の変化に対応し、その内容を適宜見直されているか	4	「経理教育を通して社会に役立つ職業人を育成すること」が創立当時の教育理念	新学科設置計画により変化を求め、職業実践課程の拡大。	令和4年度新設予定の留学生新学科の目的の明示と運営方法の提示
1-1-4 理念・目的・育成人材像等は、教職員に周知され、また学外にも広く公表されているか	4	教職員には周知されているが、学外にはあまり公表されていない	職務便覧に表記しており、教職員全員に配布している卒業アルバムに表記されている HPに学校情報の開示	学生生活の手引き及びHPでの表記表現方法

1-2 学校の特色はなにか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
1-2-5 学校の比類ない特色として挙げられるものがあるか	4	学生指導において責任を持って面倒を見ること 大学3年次編入の実績 学科独自の資格取得実績 国際人材育成	卒業生の家族及び知人の入学者が多い 合格実績が証明	広報責任者の交代から広報活動の充実及びHP上での情報公開

1-3 学校の将来構想を抱いているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
1-3-6 学校の将来構想を描き、3～5年程度先を見据えた中期的構想を抱いているか	5	将来のニーズに応じた新学科 教員の指導力向上 経営戦略策定 総合学園化計画	新学科の設置 職員会議等での周知	教科の指導方法の確立 学生指導法の研究 学校運営の方向性研究 職員スキルアップの研究

2-4 運営方針は定められているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
2-4-1 学校の目的、目標に基づき、学校運営方針は明確に定められているか	4	定められている	新寄附行為、学則、就業規則職務便覧、各種規則集に明示	令和3年度から授業時間100分制・1日3限授業・大学との単位互換(90分制)・オンライン授業(週1日)実施
2-4-2 学校の運営方針はきちんと教職員に明示され、伝わっているか	4	伝わっている	朝礼・職員会議での人材像の具視化、教職員個別話し合いでの伝達	時代にあった規則の変更規定等教職員連絡網整備
2-4-3 学校運営方針を基に、各種規定が整備されているか	4	整備されている	新寄附行為、学則、就業規則職務便覧、各種規則集の整備	各種規則集及び規定の改正

2-5 事業計画は定められているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
2-5-4 学校の目的、目標を達成するための事業計画が定められているか	5	学事計画書・予算書が毎年作成されている	今後の新学科新設及びコロナ禍の中でのオンライン授業を用いた教科書作成計画の公表	1年後、2年後予定の職員配置及びスケジュールの確定
2-5-5 学校は事業計画に沿って運営されているか	4	学事計画に基づき運営している但し、変更がある場合はその都度、経営会議の承認を取っている	学事計画書・予算書・中期計画書を教職員に配布経営会議・各科打合を定期的開催	

2-6 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
2-6-6 運営組織図はあるか	4	ある	職務分掌表で表記されている	組織としての連携及び報告・連絡・相談が未成熟なため、基本的なことを再構築する
2-6-7 運営組織や意思決定機能は、学校の目的、目標を達成するための効率的なものになっているか	4	経営会議、各科打合せ等で意思決定している各組織の教職員の意見も取り入れている	教職員個人面談等、意見を吸い上げる機会を設定した	部署の責任者の本校の教職員意識を統一して目標達成のための足並みをそろえる

2-6-8 組織の構成員そ		明確になっている	職務分掌表で表記されている	組織部門の再編成を実施
---------------	--	----------	---------------	-------------

それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	4		
------------------------	---	--	--

2-7 人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
2-7-9 学校運営に必要な人材の確保と育成が行われているか	4	少子化に対する教職員人員が限られている今、今後は専門性の高い人材確保が必要	学生が望む教員像は、専門学校の教員として専門性の高い人物を望んでいる	オンライン授業や日常での学生評価、管理職の業務チェックを各教職員にフィードバックする
2-7-10 人事考課制度は整備されているか	4	管理職による一定評価を実施 個別面談での評価伝達と認識	教職員評価表の導入 学生アンケートの活用 勤務状況、学生の退学率 オンライン授業制作物評価	来期より、オンライン授業導入と全教職員による学内研修の実施
2-7-11 昇進・昇格制度は整備されているか	3	評価制度導入、今後段階を踏み一定の客観性を保てる昇進・昇格及び降格制度を整備	就業規則に任免規定がある	本人が納得する客観性を明示することが解決方法になる
2-7-12 賃金制度は整備されているか	5	整備されている	給与規定、退職金規定がある	
2-7-13 採用制度は整備されているか	4	整備されている	採用時に所定の書類の提出 筆記試験と面接の実施 労働条件契約書	
2-7-14 教職員の増減に関する情報を明確に把握しているか	5	把握している	履歴書等の保管(在職者、退職者) 退職者名簿の作成 講師名簿の作成	

2-8 意思決定システムは確立されているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
2-8-15 意思決定システムは確立されているか	5	確立されている	経営会議・定例会議実施 職員会議の実施 各課・各科での会議の実施	
2-8-16 意思決定プロセスのポイントとなる仕組み(会議等)が制度化されているか	5	制度化されている	経営・定例会議(月二回) 各課・各科打合せ(随時) 理事会評議員会(最低年一回) 職員会議(年四回)	
2-8-17 意思決定の階層・権限等は明確か	4	明確である	理事長→校長→中間管理職 →教職員	各部門でのよりレベルをあげた業務精査と伝達徹底

2-9 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
2-9-18 業務効率化を図る情報システム化がなされているか	5	情報システム化されている	平成28年度CP買い替えにより、学園システムの改善 LearningBoxでのオンライン化	令和4.5年度にかけて学内無線ラン整備・コンピュータ機材入れ替え・職員室オンライン整備・オンライン配信室の整備

3-10 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-10-1 各学科の教育目標育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	4	令和4年度より大規模学則変更を実施。専門学校の特徴を活かし、実務家教員の導入により、人材育成を進める	大規模学則変更認可(令和3.12) 教育課程編成委員会の定期実	事務・経理科のみの教育編成委員会を、全学科実施を確立

3-11 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-11-2 各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界のニーズに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	4	一部の学科を除き対応している	卒業要件資格の設定 実務認定科目での進捗率評価	カリキュラムの変更 学生の実務研修の実施

3-12 カリキュラムは体系的に構成されているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-12-3 学科のカリキュラムは、目標達成に向け十分な内容でかつ体系的に編成されているか	4	編成されている	教務部長及び各課長・主任との会議実施、各専任教員とのカリキュラムヒアリング及び内容精査実施	大規模学則変更後、カリキュラム構成の再構築
3-12-4 カリキュラムの内容について、業界など外部者の意見を反映しているか	4	全学科カリキュラムの一部改正を常に行い、各学科が目指す人材育成に実務家の授業を取り入れ対応	企業や非常勤講師の意見を取り入れている 企業との連携	教員に対して実務研修の実施頻度を年間計画に取り入れる
3-12-5 カリキュラムを編成する体制は明確になっているか	4	教務部長及び各課長、主任、そして各教員との会議	教務部長と各学科の責任者との会議で発案及び実行	実務カリキュラムの判定方法による改正が不明瞭
3-12-6 カリキュラムを定期的に見直しているか	4	毎年見直しを実施	教務委員会及び各学科会議を前後期終了時に実施	企業意見を反映させる教育課程編成委員会がすべての学科で導入する

3-13 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-13-7 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか	5	されている	学則の付表で表示	
3-13-8 各科目の指導内容、方法等を示したシラバスが作成されているか	5	各学科毎に作成している	大学編入科では進学した大学に提出する必要がある HP上での公表	
3-13-9 各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	4	各科目のコマシラバスを作成しているが、表示に関して問題がある	HP上での公表	コマシラバスの表示に関して統一されていない

3-14 授業評価の実施・評価体制はあるか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-14-10 学生による授業評価を実施しているか	5	実施している	学生アンケートの実施	
3-14-11 授業内容の設計や教授方法等の現状について、その適否につき、学科や学校として把握・評価する体制があるか	4	ある	学生アンケートの実施 管理職による授業参観 教職員へのフィードバック 校長による個人授業評価面談	教授方法の研修及び教員間での専門性の探求及びオンライン授業に対する取り組み

3-15 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-15-12 学科の育成目標に向け授業を行うことができる要件(専門性・人間性・教授力・必要資格等)を備えた教員を確保しているか	4	ある程度確保しているが充分とは言えない	該当教員の企業内研修の時間不足	カリキュラム設定の上での中期計画立案と研修内容の改善
3-15-13 教員の専門性レベルは、業界レベルに十分対応しているか	4	専門性の評価基準を明確に打ち出す	オンライン授業や専門性探求心に教員により差がある	成果物の提示と専門性レベルの校長認定
3-15-14 教員の専門性を適宜把握し、評価しているか	4	授業視察を校長・管理職が行い、個別面談時、評価する	個別面談時、専門性のレベル認識が、各教員により差異がある	管理職による専門性レベルの客観性基準を統一
3-15-15 教員の専門性を向上させる研修を行っているか	3	個別的に行っている	個別的に外部研修に参加 学内での研修	令和4年度より、統一したオンライン研修を導入
3-15-16 教員の教授力(インストラクションスキル)を適宜把握し、評価しているか	4	ある程度把握はしている	専任教員については校長による授業視察を実施している 学生による授業アンケート実施	教授力の均一化を図るシステムを今後は構築導入
3-15-17 教員の教授力(インストラクションスキル)を向上させる研修を行っているか	3	一部学科のみ	教育課程編成委員会や専門教科別会議がある学科のみ	来年度より、統一したオンライン研修を導入
3-15-18 教員間(非常勤講師も含めて)で適切に協業しているか	4	協業している	専任と非常勤の連絡会を実施している 学科別の研究会	会合回数が少ない
3-15-19 非常勤講師間で適切に協業しているか	3	協業している分野としていない分野が存在する	同じ教科を指導する講師間で話し合いをする場を設けているが、関係者が少ない専門科目群では成り立っていない	専任教員による専門科目細分化を進め、協業関係を構築
3-15-20 非常勤講師の採用基準は明確か	5	実績・経験等を考慮して採用	資格取得証明書を提出させている 経歴書の提出	

3-16 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-16-21 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	5	明確化している	学則、試験に関する規則等で明文化されている	
3-16-22 他の高等教育機関との間の単位互換に関する明確な基準があるか	5	基準がある	近畿大学の単位取得	

3-17 資格取得の指導体制はあるか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-17-23 目標とする資格はカリキュラムの上で明確に定められているか	5	定めている	資格の取得が卒業要件と学科ごとの実務資格の改変も行っている	
3-17-24 目標とする資格の取得をサポートできる教育内容になっているか	4	なっている	補習の実施 オンライン学習の導入	教員の働き方改革等

3-18 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
3-18-25 生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか	3	高卒以上の学歴があれば入学は可能	入学規定に年齢制限はない	定員数と施設余剰がなく、基盤作りが必要
3-18-26 聴講生制度はあるか	2	制度がなく、受入れは難しい	学生指導方法が出席管理等 全日制の全科目受講者を対象とする管理体制	管理方法の改正
3-18-27 生涯学習に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	—	実施していない		

3-19 附帯教育事業に対する取組みの組織・体制は明確になっているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
------	-----	----------	-------	-----------

3-19-28 附帯教育事業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか	5	学童保育運営形態から習い事に変更して平成3年度をもって閉塾した		
3-19-29 附帯教育事業に関連する講座の開設・受講の状況・推移を正確に把握しているか	5			

4-20 学生の就職に関する目標を達成したか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
4-20-1 学生の就職に関する目標を達成したか	4	90%以上の就職実績を達成しているが、就職先の満足度を高める必要がある 労働人口減少のため、求人数は増加している	福岡での就職希望が増加し、九州外の就職希望は減少している 就職指導の体制徹底 主任キャリアカウンセリング取得	担任と就職指導による指導
4-20-2 就職成果とその推移に関する情報を明確に把握しているか	4	把握している	就職指導からの定時報告 職員会議での報告	業界の現状が把握しにくい状況もあり一層の研究が必要

4-21 資格取得に関する目標を達成したか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
4-21-3 資格取得に関する目標を達成したか	4	学科によって達成度が低い 入学生のレベル差が大きい	目標とする合格率を達成していない	カリキュラムの改善 資格研究と対策の改善 未開拓の資格研究
4-21-4 資格取得者数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	把握している	検定合格実績表を作成	

4-22 退学率の低減に関する目標を達成したか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
4-22-5 退学率の低減に関する目標を達成したか	4	コロナ禍で内向的な学生及び病気による学生が増え退学率は増加する傾向	退学率が若干増加	心療的な問題を抱えている学生が増加しているため、カウンセリングや学生面談の工夫
4-22-6 入退学数とその推移に関する情報を明確に把握しているか	5	把握している	毎月、退学者リストの作成 学事報告書に掲示	

4-23 卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
4-23-7 卒業生は社会で活躍し、評価を得ているか	4	評価を得ている	創立90年を前に多数の卒業生が実社会で活躍している 当校の学生を常に採用する企業がある	住所移動等のため連絡等が途絶える卒業生の把握をする
4-23-8 卒業生の例として特筆すべきものを記述できるか	4	記述できる	創立90年を前に多数の卒業生が実社会で活躍している 起業している者も多数いる	
4-23-9 在校生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価されたか	—	コンテスト等に参加していない		
4-23-10 在校生や卒業生の作品や発表が、外部のコンテスト等で評価された例として特筆すべきものがあるか	—	コンテスト等に参加していない		

5-24 就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-24-1 学生の就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	4	整備されている	就職指導に担当教員と事務員を配置している 編入学年主任を中心とした編入支援体制	就職・進学担当者以外の職員の協力体制の構築
5-24-2 就職に関する説明会を実施しているか	4	実施している	学内就職合宿の実施 企業による学内説明会の実施	企業との連携を一層深め、誘致を推進
5-24-3 就職に関する学生個別相談を実施しているか	4	実施している	就職指導と担任で実施している 学内就職合宿の実施	教員が就職現状と企業ニーズ把握すること
5-24-4 就職の具体的活動(履歴書の書き方等)に関する指導を実施しているか	4	実施している	授業時間内で就職担当者が指導をしている	各担任の就職指導の精度を高 キャリア授業の再構築を行う

5-25 学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-25-5 学生相談に関する体制は、整備され、有効に機能しているか	4	整備されている	カウンセリングの導入 担任制による個別相談指導	年々精神的問題を抱えた学生が増加している 家庭の協力が必要 人員配置の工夫が必要
5-25-6 学生相談室を開設しているか	5	開設している	開かれた環境を作るため模様替えを行い、より学生が利用しやすい工夫をした	いかに病院との連携を構築するかが課題
5-25-7 学生からの相談に応じる専用カウンセラーがいるか	4	存在する	外部から専門家を週一回招いている 専任教員に講習会を開催	教員もカウンセリングの知識が必要
5-25-8 留学生に対する学生相談体制は整備され、有効に機能しているか	4	担当者を設定している	現在、留学生は在学していない。次年度新学科創立。留学生対応経験済みの教員採用。申請に必要な計画書を作成中	今までは、あくまでも、担当者のみの配置だったが、留学生の生活面のサポートも含め厳密な計画が必要である

5-26 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-26-9 学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	4	支援制度あり	特待生制度 資格取得者への割引 校納金分割納入制度 授業料減免制度のサポート	
5-26-10 奨学金制度が整備され、有効に機能しているか	4	外部の奨学金制度を採用	日本学生支援機構の給付奨学金 無利子・有利子奨学金 貸与学生ローンの整備	
5-26-11 学費の分納制度等、学生を経済的に支援する制度が整備され、有効に機能しているか	4	整備されている	延納制度、分納制度 校納金分割納入制度	学費の回収率が低下する 退学した学生に対し、回収が 困難なため外部学費ローンを導入

5-27 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-27-12 定期的に健康診断を行うなど学生の健康面への支援体制はあるか	4	制度導入	学校保健法に規定する身体測定・血圧・視力・聴力検査が導入	今後学生生活指導に結果を活かす
5-27-13 学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか	2	明確な組織体制はない	健康診断を委託している校医がいる	来年度より年1回の健康診断全般の健康管理を行い、記録管理する
5-27-14 学生からの健康相談等に専門に応じる医師・看護師等がいるか	2	存在するが不十分	健康診断データを管理する校医がいる	

5-28 課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-28-15 スポーツ等のクラブ活動、ボランティア活動その他、課外活動に対する支援体制は整備され有効に機能しているか	4	整備されている(コロナ禍により休止中)	スポーツクラブの存在 剣道部、サッカー部等 県警との交通安全活動 企業とのボランティア活動 アリーナ施設整備	剣道部、バドミントン等アリーナにおいて活動を後押し

5-29 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-29-16 遠隔地出身者のための学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているのか	4	行われている	指定学生寮を設置している 不動産会社と連携によるアパートの紹介	学生一人暮らしの経済的支援整備(奨学金制度利用)

5-30 保護者と適切に連携しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-30-17 保護者と適切に連携しているか	4	連携している	毎月、成績や出席率を文書で送付している 担任から現況について連絡している	複雑な環境の家庭が増加しているため、連携方法の策定が必要

5-31 卒業生への支援体制はあるか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
5-31-18 同窓会が組織化され、活発な活動をしているか	4	組織がある	高山学園同窓会として3年毎の総会と毎年の幹事会が実施されている(コロナ禍で休止中)	卒業生全体参加型の在り方を検討
5-31-19 卒業生をフォローアップする体制が整備され、有効に機能しているか	4	整備されている	同窓会組織 過年度卒業生への就職支援 大学編入者に対する就職支援	卒業後常に最新の連絡網の整備が必要

6-32 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
6-32-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	5	新校舎の完成により、1~3号館体制となり、定員に見合った容積を確保している	教室、CP実習室、図書室等の整備 全教室電子黒板の導入	CP実習室・全教室無線ラン化（令和3年3月実施）・OCC教室の用途変更
6-32-2 施設・設備のメンテナンス体制が整備され、有効に機能しているか	5	整備されている	業者による清掃 業者による施設の管理 電子機器に対する保守契約	
6-32-3 施設・設備の更新に関する計画を立て、計画通りに更新しているか	5	計画に乗っ取り更新している	情報機器の適宜更新 施設の管理	CP実習室・全教室無線ラン化（令和3年3月実施）・OCC教室の用途変更

6-33 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
6-33-4 学外実習、インターンシップ、海外研修等について外部の関係機関と連携し、十分な教育体制を整備しているか	3	整備しているが充分ではない 学科間の差が大きく、大学併修リクルート科での学士インターンシップがまだ不十分である（コロナ禍により来年度実施）	インターンシップ先の確保 教務部内での組織化遅れ	来年度本格実施
6-33-5 学外実習、インターンシップ、海外研修について、その実績を把握し教育効果を確認しているか	4	把握し確認している	インターンシップによる企業からの契約書及び評価表の回収	学士インターンシップ制度の確立

6-34 防災に対する体制は整備されているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
6-34-6 防災に対する体制は整備され、有効に機能しているか	4	整備されている	警備会社との契約により機能 防火管理者による指導	学生等に対する防火意識の研修
6-34-7 災害を起こす可能性のある整備・機器等の情報は十分に伝えられているか	4	伝達されている	担当者による指導を行っている 出席簿及び学生生活の手引きに明記	学生の意識向上
6-34-8 実習時等の事故防止の体制は十分か	4	ある程度体制は整っている	団体での実習には必ず担当者が引率している 職員便覧での指導體制	危機管理の組織化
6-34-9 万が一の災害が起きた場合に備えた保険等の処置は十分なものとなっているか	4	十分である	学生保険やインターシップ保険に加入 学生全員傷害保険に加入	すべてのケースが網羅されているか検証する
6-34-10 防災訓練を実施しているか	3	教室での誘導等の実施のみ データ上での訓練のみ	教職員による避難訓練の確認	

7-35 学生募集は、適正に行われているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
7-35-1 学生募集活動は、適正に行われているか	5	行われている	学生募集に際し殆どクレームはない	
7-35-2 学校案内等は、志望者・保護者等の立場に立った分かり易いものとなっているか	4	分かり易いものになっている HP上での情報開示	金銭に関するものはできるだけ正確に表示している	
7-35-3 志望者等の問い合わせ・相談に対応する体制があるか	4	広報課及び総務課が主対応 各職員も対応する指導を行っている	教職員全員に学校の内容を周知する様に指導している	情報の共有スピード化
7-35-4 募集定員を満たす募集活動となっているか	3	一部定員を満たさない学科がある	高校生ニーズと実務現状とのズレが生じている	定員を満たさない学科の廃止及び実務現状にあった新学科設置

7-36 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
7-36-5 就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	4	貢献している	大学3年次編入実績 就職実績、資格取得実績 景気回復により就職状況は好転している	定期採用の実績を上げる
7-36-6 卒業生の活躍の教育成果が学生募集に貢献したかどうか正しく認識する根拠を持っているか	4	持っている	卒業生の親族等の入学者が多い	メディアによる広報活動

7-37 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
7-37-7 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか	5	行われている	筆記試験、面接は適正に実施 調査書以外の本人に不利となる情報は取得しない	
7-37-8 入学選考に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	把握している	入学選考に関する情報資料を電子化するとともにファイルで管理している	

7-38 学納金は妥当なものになっているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
7-38-9 学納金は、教育内容、学生および保護者の負担感等を考慮し妥当なものとなっているか	4	妥当であるが再構築を次年度要項より行う	固定費の上昇により学納金再構築、国の学生給付の立場からの内訳変更	財務状況の詳しい分析と正確な原価配分により学納金決定
7-38-10 学納金に関する情報とその推移を学科ごとに正確に把握しているか	5	把握している	会計責任者によるデータ化が完成	

8-39 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
8-39-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	ある程度安定しているが少子化の波が影響してきている	学生数減少と余剰金減少	少子化が進む状況のため安定した学生数確保が課題
8-39-2 主要な財務数値に関する情報とその推移を正確に把握しているか	5	把握している	決算書、予算書等の財務資料は完備されている 学校会計を熟知した会計事務所に決算の依頼をしている	

8-40 予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
8-40-3 年度予算、中期計画は、目的・目標に照らして、有効かつ妥当なものになっているか	4	妥当であるが減少予算になりつつある	各年度財務諸表が適正である	収入安定のための学生数増加経営戦略を次年度より打ち出す
8-40-4 予算は計画に従って妥当に執行されているか	5	執行されている	予備費の振替以外に補正予算を組むことはない	

8-41 財務について会計監査が適正に行われているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
8-41-5 財務について会計監査が適正に行なわれているか	5	適正に行われている	監査役による監査 会計事務所による決算書等の作成	
8-41-6 会計監査を受ける側・実施する側の責任体制、監査の実施スケジュールは妥当なものか	5	妥当である	理事会、評議員会の実施前に十分な期間を設けて実施	

8-42 財務情報公開の体制整備はできているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
8-42-7 私立学校法における財務情報公開の体制整備はできているか	5	整備されている	財務情報資料の完備 HPIによる開示	
8-42-8 私立学校法における財務情報公開の形式は考えられているか	5	考えている	財務情報資料の公開 HPIによる開示	

9-43 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
9-43-1 法令や専修学校設置基準等の遵守に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	教員には啓発活動を行い、各基準等の情報共有を行っている	教職員職務便覧に記載 朝礼・職員会議で校長が情報共有	教員の教育以外での法令遵守の理解と学生への周知

9-44 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
9-44-3 志願者、学生や卒業生および教職員等学校が保有する個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	取っている	外部に情報を伝える場合必ず本人の意思を確認 外部から問い合わせには原則対応しない	個人情報に対する細かな規定を整備する
9-44-4 個人情報に関して、教職員・学生等に対する啓発活動を実施しているか	4	実施している	個人情報保護法の内容を 掲示板に掲示している 入学時に内容を提示	個人情報に対する細かな規定を整備する

10-45 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
10-45-1 自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善に努めているか	5	かなり以前から学生アンケートを取り自己点検に勤めていた	問題点についてはその都度対応している	
10-45-2 自己点検・自己評価に関する方針は確立されているか	5	確立されている	平成21年度より自己点検評価を実施	
10-45-3 自己点検・自己評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	伝わっている	HPで平成24年度分より開示	

10-46 自己点検・自己評価結果の公開はしているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
10-46-4 自己点検・自己評価結果は公開しているか	5	HPで開示	HPで開示 学事報告書、学生アンケートの教職員への公開	
10-46-5 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は確立されているか	5	HPで開示	HPで開示 学事報告書、学生アンケートの教職員への公開	
10-46-6 自己点検・自己評価結果の公開に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	5	HPで開示	HPで開示 学事報告書、学生アンケートの教職員への公開	

10-47 第三者機関による学校評価を受ける予定・方針は確立されているか

点検項目	進捗度	現状認識・評価等	前述の根拠	課題とその解決方法
10-47-7 学校は、今後実施される第三者機関による学校評価を受ける予定か	3	将来的に導入を予定	学校関係者評価の実施 理事会・評議員会での検討	第三者機関の選定 文科省による制度改革の具体的な内容が未定
10-47-8 第三者評価に関する方針は確立されているか	3	将来的に導入を予定	学校関係者評価の実施 理事会・評議員会での検討	第三者機関の選定
10-47-9 第三者評価に関する方針は関係者に対して正確に伝わっているか	3	将来的に導入を予定	学校関係者評価の実施 理事会・評議員会での検討	第三者機関の選定